



福澤育林友の会

東京都港区三田2-15-45 慶應義塾 管財部

TEL03-5427-1050 FAX03-5427-1190

<http://www.f-ikurin.jp>



## 年頭にあたって

(財)福澤記念育林会  
理事長 森 征一

あけましておめでとうございます。  
皆様にはお健やかな新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

旧年中は福澤記念育林会のためにご協力とご支援をいただき、深く感謝申し上げます。

昨年の平成20年、慶應義塾は創立150年という大きな節目を迎え、11月8日には日吉キャンパスで記念式典が挙行されました。記念式典は慶應義塾150年の歴史を飾るにふさわしいものでした。当日は天皇皇后両陛下のご臨席を賜り、天皇陛下から次のようなお言葉をいただきました。

「慶應義塾は、今日まで、福澤諭吉の教えである「独立自尊」の精神を基に、我が国の各分野において、国の発展と国民の幸せに貢献する多くの人々を育て、また、文化の向上に寄与するとともに、外国人留学生の受け入れなど国際交流にも意を用いてきました。

今日、我が国は、幾多の課題に直面しており、また、国際社会において、日本が各国との協力の下に対処していかなければならない問題も少なくありません。このような状況下、教育が果たすべき役割は、誠に重要であり、今後も慶應義塾が、国の内外で活躍する人材を数多く育て、送り出すことを期待しています。」

私は天皇陛下のこのお言葉に深い感動を覚えるとともに、「独立自尊」の精神で自然環境の保全の先駆的な試みをされた福澤先生の偉大さを改めて思いました。ご存知のように、今から100年余り前の明治27年、先生が故郷・中津に帰省したとき、菊池寛の名作『恩讐の彼方に』で広く知られる、耶馬溪の「青の洞門」付近の山地が売りに出されているという話を聞き、樹木が伐採されてしまうことを危惧した先生は、私財をもってこれを買取り、この景勝地を守ったのです。私はこの福澤の原点に立ち戻り、皆様とともに日本と世界の未来のためにこれまで以上に環境と自然への教育的貢献を果たすよう努めなければと考えております。

慶應義塾は創立150年を機に記念事業を展開していますが、記念事業の一つ、21世紀の未来を先導する人材の育成を目指す「福澤諭吉記念文明塾」もいよいよ今年の4月から本格開講します。福澤文明塾はすでに昨年5月11日には三田キャンパスで環境シンポジウム「地球環境 夢プロジェクト」を開催しました。このシンポジウムでは、高校生をはじめ、次代を担う若い人たちを中心に、いま慶應義塾が取り組む環境問題に関するプロジェクトの「夢」を紹介することにより、地球の未来について皆で一緒に考えました。約1000名をこえる皆様が参加し、活発な意見交換が行われました。今後、このような企画を通して、環境への関心がさらに高まり、そこから環境リーダーが育ってほしいと願っています。

最後になりましたが、この一年が皆様にとりまして幸多き年でありませう、心よりお祈りいたしますとともに、この一年を皆様とともに植林活動を通して環境問題について夢を持って取り組んでいく年にしていきたいと願っています。



## またひとつ慶應の杜が増えた(第1回修善寺幼稚舎の杜植林感想文から)



今日、静岡県へ植林をしに行きました。伊豆半島の根本にある修善寺です。

植える場所は穴があり、クヌギやコナラなどの苗をさし、土をかぶせてふみ固めて1本の苗を植えます。ぼくは、苗を14本植えました。植えるとき大変だったのは、とくに苗に土をかぶせる作業でした。たくさんの土をスコップでかぶせないといけないからです。かぶせる土の葉やじゃまする根を取り除きます。なぜなら、水を横取りされるからです。苗はかたむかないように気をつけることも大変ですし、土をかぶせる量のかげんが苦勞しました。苗はほとんどの穴をふさぎ、植えられました。植える場所は上へ上がれば上がるほど急になり、土もパサパサ、ボロボロになっていました。

慶應の森林は日本中7ヶ所ぐらいあり、今日またひとつ慶應の杜が増えました。これからも慶應の森や林を増やして、日本を豊かにもっとしたいです。今日全部で約600本を植えました。今は、ハゲ山でも、10年、100年、1000年ぐらいたてば森のようになり、

夏には虫がいっぱい来ると良いと思います。

今回が第1回となる慶應義塾幼稚舎が行った植林。これからも続いてどんどん木を増やして、地球温暖化をおさえるとうれしいです。木を大切に、木をむだづかいや伐採を多くしないようにリサイクルを増やし、木を守ってほしいです。僕が大人になるころ、木はどれくらい成長しているか楽しみです。(井上景太)

## 平成20年度「研修旅行」の予定

静岡県伊豆市修善寺の「幼稚舎の杜」で幼稚舎生と一緒に植林を体験してもらう研修旅行を予定しております。修善寺は昭和19年幼稚舎生が疎開した地域です。「幼稚舎の杜」は、義塾OBの井草實氏が幼稚舎に自然や環境を考える教育の一助となるようにご協力くださっています。幼稚舎生による植林も平成11年3月の第1回目から数えて10年目を迎えます。この節目の年に幼稚舎生と思い出に残る植林をしていただこうと思います。

計画は、平成21年3月7日(土)~8日(日)で、1日目は幼稚舎の杜での植林、椎茸の菌の打ち込み、河津桜祭りの見学、夜は伊豆の美味しい海鮮料理を味わい、温泉でくつろいでいただき、2日目は猫越峠を散策し、天城のブナ林、遠くに富士山、伊豆半島の山々・海の眺めを楽しんでいただこうと思います。まだ計画の段階でスケジュール等の調整を行っている最中でありますので、決定次第、育林友の会ニュースおよびホームページで皆様に案内させていただきます。ご期待ください。



## 福澤記念育林基金の平成20年度採択決定

福澤記念育林基金では、基金による活動支援、研究支援、海外派遣支援の募集を実施しました。今年は、昨年同様の方法で応募をしたのですがPRが足りなかったのかせいか、昨年に比べ申請数が減りました。活動支援・研究支援の募集を9月末に締め切り、10月中旬に選考委員会で慎重に審査しました。

平成20年度募集の結果については、以下の通りです。

(活動支援)

応募 1件  
採択者 該当者なし

(研究支援)

応募 11件  
採択者 名古屋大学大学院生命農学研究科 申請者；土川 寛氏  
テーマ；ケモトリック分光法による国産材のブランド化

今回の応募では、活動支援については21年度の活動に対する申請のため不採用にせざるを得ませんでした。また、研究支援については木材の非破壊検査による原産地・品質証明ができ、ブランド化が実現されれば期待したいと上記のテーマを採択しました。

選考委員会では募集時期等の見直しを含め検討してまいりますが、多くの方々の応募をお待ちしております。また、今回残念ながら不採択になった方々は、更なるチャレンジをお願いいたします。

## 平成21年度「森を愛する人々の集い」の案内



【鈴木敏夫プロフィール】

1948年8月19日、愛知県生まれ。  
1972年、慶応義塾大学文学部卒業後、徳間書店に入社。  
1978年、月刊誌『アニメージュ』創刊に携わり、その後編集長を務める。  
1984年、映画「風の谷のナウシカ」製作を雑誌編集と兼務で担当し、1985年にはスタジオジブリ設立に参加。  
1989年よりジブリ専従となり、「おもひでぽろぽろ」「千と千尋の神隠し」や最新作「崖の上のポニョ」等、一連のジブリ作品をプロデュース。

現在、株式会社スタジオジブリ代表取締役プロデューサー。

「森を愛する会」講演会のお知らせ

毎年皆様にご参加いただいております「森を愛する会」も今年で第8回となります。

研究助成金支援団体の発表、多彩なゲストによる講演会、そしてその後和気藹々とした雰囲気の中行われる懇親会と毎回有意義な会となっています。

今年はスタジオジブリ前社長鈴木敏夫様にご講演いただく予定にしております。

鈴木さまは社長を退任され、現在はプロデューサーに専念されています。

自然を愛し、美しい地球と子供の心を大切にしたいジブリの作品の誕生の過程など

現場の声を聞かせていただければと思っています。

日程は6月後半から7月初旬を予定しています。

詳細は改めてお知らせいたしますので、皆様ふるってご参加くださいませ。

東京FMほか全国38局ネットのラジオ番組「鈴木敏夫のジブリ汗まみれ」パーソナリティとしても活躍中。近書に『仕事道楽 スタジオジブリの現場』（岩波新書）がある。

## 創立 150 年記念式典を挙行

2008 年 11 月 8 日（土）、慶應義塾創立 150 年記念式典が日吉キャンパス陸上競技場において挙行されました。

実施会場の日吉キャンパスには約 8,300 名、中継会場となった三田キャンパスには約 3,100 名、湘南藤沢キャンパスには約 600 名、大阪会場（堂島リバーフォーラム）には約 700 名の来賓・招待者、塾生（在校生）、塾員（卒業生）、保護者、教職員等が一堂に集い、ともに創立 150 年を祝いました。

12 時より「式典前プログラム」が開催され、各会場からの中継、「日本の近代化 150 年と慶應義塾社中の絆」をテーマとしたプログラム、前日の「慶應義塾創立 150 年記念切手贈呈式」の様子の紹介、「慶應義塾祝典曲」の演奏などが行われました。

続いて開催された「式典」には、天皇皇后両陛下の御親臨を仰ぎ、国内・海外の大学の学長をはじめとする多くの来賓の方々が登壇しました。

式典は「慶應義塾創立 150 年記念式典ファンファーレ」の演奏とモーターグライダーによる会場上空の記念飛行から始まり、開会の辞、安西祐一郎塾長の式辞に引き続き、天皇陛下よりおことばを賜りました。その後、国内・海外の大学の学長、卒業生代表からの祝辞、塾生代表 2 名による「誓いの言葉」がありました。そして「慶應義塾塾歌」を参加者全員が斉唱し、閉会の辞が述べられました。

その後慶應義塾の未来に向けた「未来先導宣言」が行われました。普通部生徒による和太鼓演奏に続き、慶應義塾の幼稚舎から大学院までの各校代表者、さらには各界で活躍している塾員の方々が「未来先導宣言」として未来へ向けての力強いメッセージを発表しました。

メッセージを受けて、應援指導部による「未来へのエール」と呼びかけのもと、出席者全員が肩を組みながら応援歌「若き血」「慶應讃歌」を力強く大合唱し、フィナーレとなりました。

日吉会場だけでなく、三田、湘南藤沢、大阪の各中継会場も、それぞれ笑顔と熱気に包まれながら、創立 150 年記念式典のすべてのプログラムが終了しました。

お蔭様で、式典は無事挙行できました。式典会場に抽選漏れで参加できなかった方もおられたのではないかと思います。皆様のご協力に感謝いたします。

### 《今後のイベント紹介》

- ・ 創立 150 年記念「未来をひらく福澤諭吉展」  
2009/01/10 ~ 03/08（於：東京国立博物館 表慶館）  
2009/05/02 ~ 06/14（於：福岡市美術館）  
2009/08/04 ~ 09/06（於：大阪市立美術館）

他にもいろいろとイベントを用意しております。

